

新入生向け図書館ガイダンス

4月12日(火)~5月31日(火)まで「新入生向け図書館ガイダンス」を実施しました。参加者数は50件676名となりました。ガイダンスではOPAC(蔵書検索端末)の検索方法や資料の探し方の説明、館内見学を通して図書館の基本的な利用方法を案内しています。

経済学部、法学部、文化学部では、入門演習などの講義時間を利用して、学部全員参加のガイダンスを実施しました。

インターンシップ

9月12日(月)、15日(木)~16日(金)の3日間、本学学生2名、9月14日(水)札幌市内高校から高校生16名のインターンシップを受け入れました。

図書館業務の説明後、図書館システムを使った蔵書点検や情報検索実習、製本実習などを体験してもらいました。

地域開放日

大学祭開催期間にあわせ、10月8日(土)から9日(日)まで、地域開放を行いました。入館に際しての手続きは不要で、普段は入館できない小学生以下のお子様もこの日は入館ができました。2日間で121名の入館者がありました。

選書ツアー

10月29日(土)MARUZEN&ジュンク堂書店にて、学生による選書ツアーを行いました。学生6名が参加しました。

法学部秋学期図書館ガイダンス

春学期入門演習ガイダンスに続き、1年生を対象とした法学部秋学期ガイダンスが、11月7日(月)から11月28日(月)までの毎週月曜日、法令判例資料コーナー、情報検索コーナーで実施されました。法学部の先生による法学関係資料の説明、データベースの検索実習(法令・判例関係、雑誌記事・新聞記事関係)など、より専門的な内容のガイダンスが行われました。4回で102名の参加がありました。



展示

■ 札大生に読んで欲しい本

5月31日(火)まで「札大生に読んで欲しい本」としてホルムに紹介された本の展示を行いました。

■ 「自然災害・原発と復興」

6月9日(木)から9月30日(金)まで「自然災害・原発と復興」をテーマに展示を行いました。

■ 山口文庫

10月6日(木)から12月8日(木)まで、図書館2階ホールに「山口文庫」の特設コーナーを設置。山口文庫所蔵の貴重な図書を文化学部学生が選書し、展示しました。



■ 選書ツアー

選書ツアーのタイアップ企画として、1月12日(木)から、図書館2階ホールに「学生による選書」の特設コーナーを設置。事前にPOPを作成してもらい、学生によるオススメの図書を展示しました。



職業体験学習

11月25日(金)、西岡北中学校1年生10名が、図書館で職業体験学習を行いました。

生徒から図書館の仕事についてインタビューを受け、その後、図書館の仕事内容について説明し、図書館職場見学、情報端末検索、OPAC検索、図書の配架などの実習を行いました。

■ 表紙のこと：ルソー『エミール』初版 4巻(2冊)(パリ 1762)

Rousseau, Jean-Jacques. Emile, ou de l'education. 1st ed. Amsterdam, Jean Néaulme, 1762. 4vols. In 2.

ルソーは、18世紀フランスを代表する思想家であり、2012年は、生誕300年にあたる。

『エミール』(副題「教育について」)は、ルソーが50歳の時に刊行された教育小説であり、明治以来、我国の教育界にも大きな影響を与えた。

初版本には、パリ版(8折判、12折判)とオランダ版(8折判)があるが、検閲を逃れるため、パリ版もオランダの出版地・出版者名で印刷されている。本学所蔵本は、小型の12折判で出版地がアムステルダムと記されており、全4冊を

2冊本に合冊している。

結局、『エミール』は発禁処分となり、ルソー自身にも逮捕状が出され、逃亡者としてヨーロッパ各地をさまようことになる。再びパリに戻るのは8年後であった。

なお、ルソーは音楽にも関心が深く、『むすんでひらいて』の原曲の作者とされている。ルソーの曲の一部が、賛美歌やアメリカ民謡となり、やがて日本にたどり着き童謡となる経緯については、海老沢敏著『むすんでひらいて考』(岩波書店 1986)に詳しく紹介されている。

■ 標題のこと：標題の「ホルム(XOJIM)」は、ロシア語で丘の意。大学の所在地名(西岡)に因んでいます。